

酒船石遺跡の亀形石槽・船形石槽 (復元品)を新たに公開

飛鳥資料館の庭園の石造物に、酒船石遺跡の亀形石槽・船形石槽が加わりました。

亀形石槽・船形石槽は花崗岩を用いた実物大の精巧な複製です。周囲の石敷と湧水施設部分は雰囲気再現しました。亀形石槽は、製作した石工の左野勝司氏から奈文研に寄贈されたものです。左野氏へは奈文研から感謝状が授与されました。

今回復元した石造物は、酒船石がある丘陵の北麓、谷底の湧水地点に造られていた飛鳥時代の導水施設です。周囲には大規模な石敷きの遺構が広がり、その立地や規模、構造から、天皇や国家にかかわる重要な祭祀の場だったと考えられています。しかし、史料上にはそれらしき記述はなく、亀形石槽のところで何がおこなわれたのかは謎に包まれています。

湧水施設から流れ出た水は船形石槽に溜まり、その上澄みが亀形石槽へ流下する構成になっています。亀形石槽は栓をすれば約200ℓの容量があります。亀の顔や手足はどことなくユーモラスな姿をしています。

みなさんも飛鳥資料館の庭園で古代の祭祀を想像してみませんか。
(飛鳥資料館 石橋 茂登)



酒船石遺跡 亀形石槽・船形石槽(復元品)



記者に説明する石工の左野勝司氏